

事業概要

評価年度	令和3年度 ～ 令和7年度
区域名・事業名	若松浜・中之島にぎわいの森づくり事業
占用主体	株式会社 ケー・エクスプレス
事業者	株式会社 ケー・エクスプレス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中之島の堂島川の川辺をみどりの遊歩道でつなぎ、河川沿いの回遊性を高めるとともに、みどり豊かなにぎわい空間を創出することにより、人々が憩い楽しめる場を提供している。 ・ レストラン・ウェディングの運営や、リバークルーズ等の陸と河川を繋いだ水辺のにぎわいの創出を意識したイベントを実施中。 ・ マルシェ等の新しい企画や蚤の市等のイベントを継続的に実施中。

事業評価

賑わい創出	地域活性化 （地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中之島の堂島川の川辺をみどりの遊歩道でつなぎ、河川沿いの回遊性を高めることで、ウォーキングを楽しむ方々や近隣のオフィスの方々、公園を利用される方々の憩いの場としての機能を果たしている。 ・ 平成25年 12 月に開業したレストラン・宴会場・BBQ ラウンジ・リバークルーズ（平成27年4月開業）を継続して運営することにより、周辺地域から人々が集まるようになり、地域の賑わい創出に寄与している。 ・ リバークルーズと連動した様々なイベント（北浜蚤の市、ほんのもりピクニック）やライブイベントを開催することにより、陸と河川を繋いだ水辺のにぎわいの創出と地域の人との繋がりと魅力の向上に努めている。 ・ 今後も多様なイベントを企画開催し、幅広い年齢層の集客を図るとともに、川を活かし地域との密着を深めていく。 【参考】 イベント件数 （令和3年度：5件、令和4年度：7件、令和5年度：13件、令和6年度：12件、令和7年度：16件）
	水辺の賑わい、集客性 （水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来客数は令和3年度 32,526人から令和4年度 55,425人とコロナ禍で集客が減少している中、令和5年度 60,212人と増加しており、様々な取り組みにより集客力は増加しており、様々な水辺のロケーションを活かしたイベントを継続的に実施するなど水辺の賑わい創出に大きく貢献し、地域文化の振興と賑わいづくりに寄与した。 ・ 令和5年10月には「北浜蚤の市」を開催、また令和7年5月には「The Uの会」の大規模イベントを開催するなど、継続的に集客を促進し賑わいが創出された。今後は宴会場の貸し切りパーティーも活かしたイベントの誘致を継続的に実施予定。

		<p>[利用者実績]</p> <p>令和3年度 32,526人 令和4年度 55,425人 令和5年度 60,212人 令和6年度 55,825人</p>
	<p>情報発信 (水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行っているか)</p>	<p>・自社SNS やウェブサイトでの情報発信に加え、インフルエンサーの誘致や、サントリーとの共同企画、テレビ・雑誌「るるぶ大阪'23」「ABC テレビ おはよう朝日です」「婦人雑誌 25ans(ヴァンサンカン)」「情報サイトWelove 大阪」などにも掲載し、認知度向上に努めている。</p>
	<p>次年度以降の取組方針 (提案内容の実現性はあるか)</p>	<p>・地域との連携を強化し、文化・食・水辺空間を活かした多様な体験を提供予定。 ・SNSや情報発信を活用し、より多くの方々に施設の魅力を知っていただくとともに、訪れるすべての方々が笑顔で楽しめる環境づくりに努めていく。 ・宴会場での要望に応え和太鼓・マジックショーを継続し、リパークルーズでは、今後も、有名寿司店とのコラボ企画やビール会社とのコラボ企画を検討するなど、また、アーティストとのコラボイベント、有名シェフとのスペシャル料理コラボなどの多様なイベントを企画し開催予定。 ・幅広い年齢層の集客を図るとともに、宴会場の貸し切りイベントや様々な用途での活用を推進し、川を活かしながら地域に根差した取り組みを継続的に行われていることから、今後も安定した運営が期待される。</p>
河川管理	<p>周辺との調和 (一般通行の障害、騒音、臭気等について十分に配慮されたか)</p>	<p>苦情の回数：令和3年度：0件、令和4年度：0件、令和5年度：2件、令和6年度：2件、令和7年度：1件 ・一般通行の障害について苦情があったが河川管理者からの指導により改善が図られた。</p>
	<p>良好な施設の維持管理 (維持管理の不備により施設利用者に危害を及ぼすことは無かったか)</p>	<p>・事業者による施設の清掃や設備点検などの維持管理を実施しており、施設が施設利用者に危害を及ぼすことはなかった。 ・過去5年間、施設に不具合が生じた場合は、速やかに補修を行うなど維持管理は適切に行われている。</p>
	<p>利用者の安全確保</p>	<p>・火災、地震等のマニュアルを整備、従業員への緊急時対応訓練を定期(年1回)開催している。 ・施設や利用者に対する防犯上の取り組みとして、防犯カメラの設置を検討している。 ・令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島地震に伴う津波注意報の発令時は、朝の時間帯で利用者が店舗にいない状態であった。利用者がある場合は、訓練通りに高台や3階以上の建物など、安全な場所に避難して頂くよう案内する。</p>
	<p>占用施設の種類の (特区内で認められている占用施設と実際の設置施設が合致しているか)</p>	<p>・実際の設置施設は特区内で認められている占用施設に合致している。 <若松浜で認められている占用施設と実際の設置施設(四角囲み)> 広場、イベント施設、遊歩道、船着き場、船舶係留施設、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店・売店・オープンカフェ・照明・音響施設・切符売場・案内所、船上食事施設、その他都市及び地域再生等のために利用する施設</p>

<p>取組の総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中之島の堂島川の川辺をみどりの遊歩道でつなぎ、河川沿いの回遊性を高めることで、ウォーキングを楽しむ方々や近隣のオフィスの方々、公園を利用される方々の憩いの場としての機能を果たしている。 ・ 適切に維持管理が行われており、施設管理者及び周辺利用者との大きなトラブルはなかった。 ・ また、利用者実績数についてもコロナ禍から回復傾向にあり、水辺の賑わいが創出されている。 ・ 令和 8 年度以降も引き続き、周辺企業や施設と連携したイベントの実施や水上ネットワークの繋がりを活用した流域全体の情報発信等を予定されており、事業を推進する意欲が示されており、一定の実現性がある。
<p>事業評価（案）</p>	<p>総合的に評価し、事業継続は妥当である。 水都大阪ビジョン等でも位置付けのある水都大阪の拠点として、地域との連携を意識した取り組みを実施するなど、みどり豊かな空間で人々が回遊性を高める場の創出に繋がる更なる取り組みに期待する。</p>